

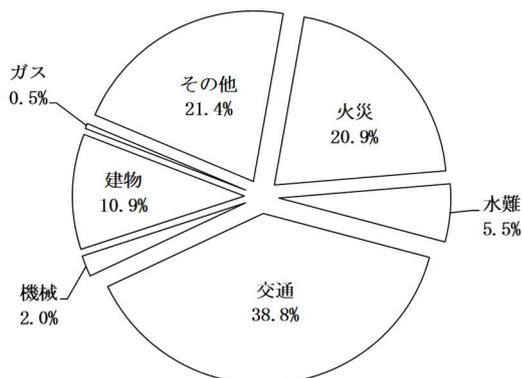
Ⅲ 救助概況

(平成31年1月～令和元年12月)

1 事故種別救助出動状況

救助出動件数は201件で、前年比6件(3.1%)の増加となりました。内訳は、交通事故が78件(38.8%)と最も多く、次いでその他の事故が43件(21.4%)、火災が42件(20.9%)、建物等による事故22件(10.9%)、水難事故が11件(5.5%)、機械による事故が4件(2.0%)、ガス・酸欠事故が1件(0.5%)となりました。(図Ⅲ-1参照)

図Ⅲ-1 事故種別救助出動状況



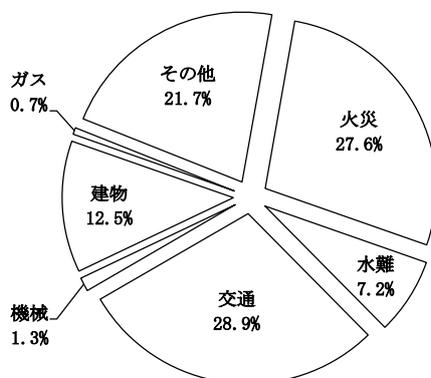
事故種別	火災	水難	交通	風水害	機械	建物	ガス	破裂	その他	計
出場件数	42	11	78	0	4	22	1	0	43	201

2 事故種別救助活動状況

救助活動件数は152件で、前年比3件(2.0%)の増加となりました。内訳は、交通事故が44件(29.0%)と最も多く、次いで火災が42件(27.6%)、その他の事故が33件(21.7%)、建物等による事故が19件(12.5%)、水難事故が11件(7.2%)、機械による事故が2件(1.3%)、ガス・酸欠事故が1件(0.7%)となりました。

(図Ⅲ-2参照)

図Ⅲ-2 事故種別救助活動状況



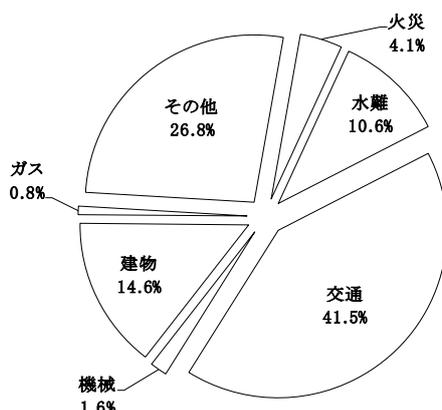
事故種別	火災	水難	交通	風水害	機械	建物	ガス	破裂	その他	計
活動件数	42	11	44	0	2	19	1	0	33	152

3 事故種別救助人員状況

救助活動により救助された人員は123人で、前年比8人（7.0%）の増加となりました。内訳は、交通事故が51人（41.5%）と最も多く、次いでその他の事故が33人（26.8%）、建物等による事故が18人（14.6%）、水難事故が13人（10.6%）、火災が5人（4.1%）、機械による事故が2人（1.6%）、ガス・酸欠事故が1人（0.8%）の順となっています。

（図Ⅲ－3参照）

図Ⅲ－3 事故種別救助人員状況



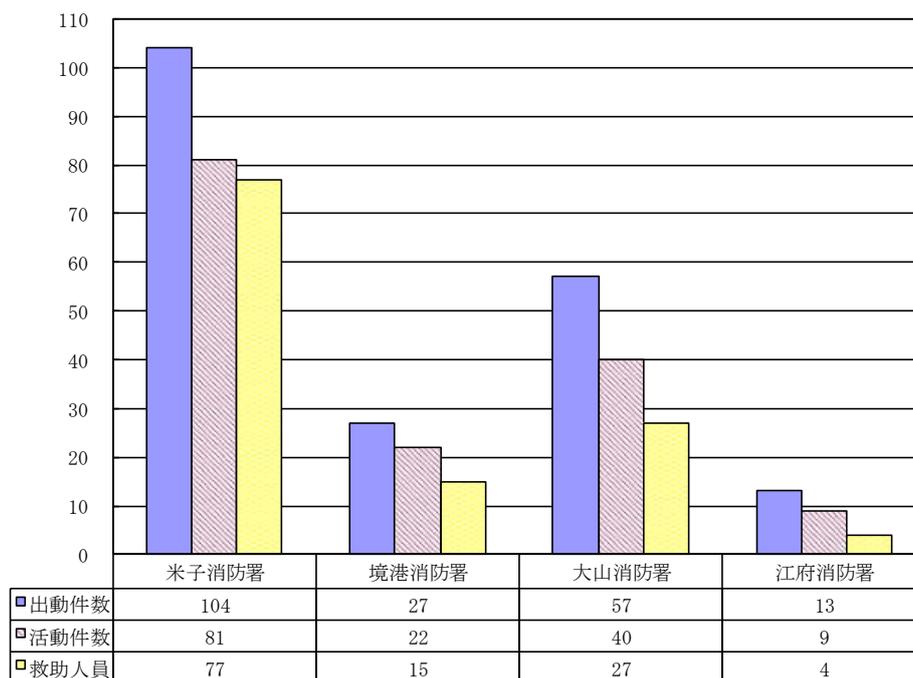
事故種別	火災	水難	交通	風水害	機械	建物	ガス	破裂	その他	計
救助人員	5	13	51	0	2	18	1	0	33	123

4 管轄別救助活動状況

救助出動件数を消防署の管轄別で見ると、米子消防署が104件（51.7%）と最も多く、次いで大山消防署が57件（28.4%）、境港消防署が27件（13.4%）、江府消防署13件（6.5%）となりました。

（図Ⅲ－4参照）

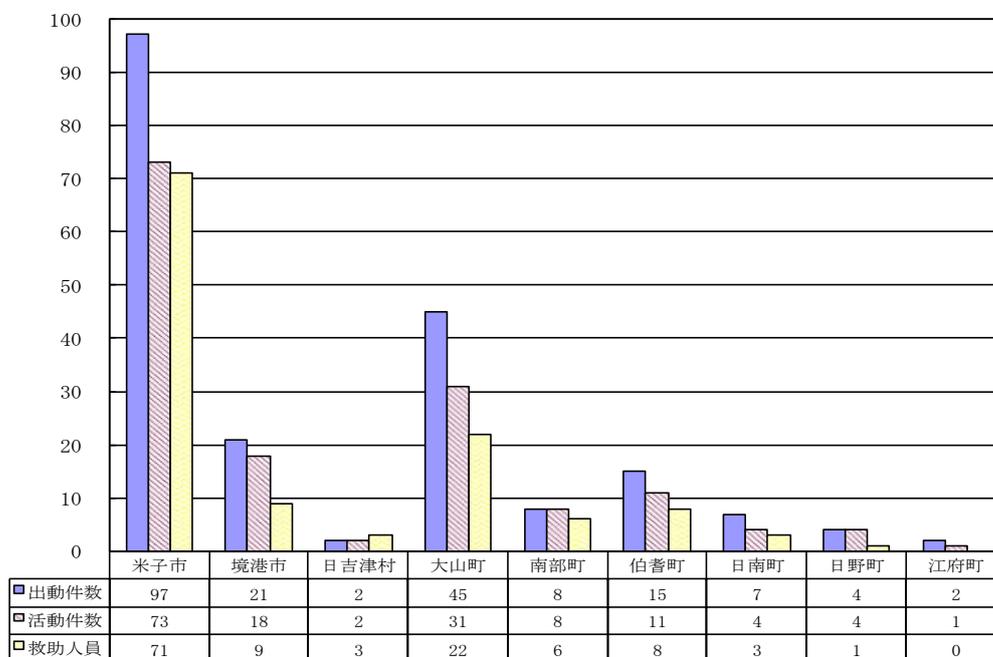
図Ⅲ－4 管轄別救助活動状況



5 市町村別救助活動状況

救助活動状況を市町村別で見ると、救助出動件数、救助活動件数、救助人員ともに米子市が最も多く出動件数97件（48.3%）、次いで大山町が45件（22.4%）、境港市が21件（10.4%）、伯耆町が15件（7.5%）となりました。（図Ⅲ－5参照）

図Ⅲ－5 市町村別救助活動状況



6 月別救助活動状況

救助出動件数を月別で見ると、8月が23件（11.4%）と最も多く、次いで3月と9月が22件（10.9%）、11月が20件（10.0%）、5月が18件（9.0%）となりました。（図Ⅲ－6参照）

図Ⅲ－6 月別救助活動状況

